

Silk Test 13.6 Silk4NET Web Edition

インストール ガイド

Micro Focus
575 Anton Blvd., Suite 510
Costa Mesa, CA 92626

Copyright © Micro Focus 2013. All rights reserved. Silk Test は Borland Software Corporation に由来する成果物を含んでいます, Copyright © 2013 Borland Software Corporation (a Micro Focus company).

MICRO FOCUS, Micro Focus ロゴ、及びその他は Micro Focus IP Development Limited またはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

2013-02-05

目次

概要	4
システム要件および前提条件	4
ハードウェア要件	4
プラットフォーム サポート	4
Adobe Flex のサポート	5
管理者権限	5
Silk4NET Web Edition に含まれる項目	5
ライセンス情報	7
Silk Test のインストール	8
インストールの前提条件	8
TEMP 環境変数の再設定	8
Silk4NET Web Edition のインストール	8
Silk4NET Visual Studio プラグインの手動インストール	10
Silk Test のアンインストール	10

概要

このヘルプでは、Silk Test のインストールとアンインストールに必要なすべての情報を提供します。ハードウェア要件とソフトウェア要件について説明し、さまざまな設定オプションの詳細について説明します。


システム要件および前提条件

以下のセクションでは、Silk Test をインストールして実行するためのシステム要件を示します。

ハードウェア要件

以下のハードウェア要件をお勧めします。

システム領域	要件
プロセッサ	Intel または AMD の DualCore プロセッサ (2 GHz)
RAM	2 GB
ハード ディスク領域	2 GB の空きディスク領域

 **注:** 自作機 (ベアボーンキット、ショップブランド機を含む) は動作保証外です。

プラットフォーム サポート


プラットフォーム

Silk Test 13.6 は、次のプラットフォーム上で実行するように設計されています。

- Microsoft Windows XP SP3
- Microsoft Windows Vista SP2
- Microsoft Windows 7
- Microsoft Windows 7 SP1
- Microsoft Windows 8

テクノロジー ドメインおよびブラウザ

Silk Test 13.6 では、以下のブラウザを使用するアプリケーションまたは以下で開発されるアプリケーションがサポートされています。

 **注:** Silk4NET の Web + Flex 版ライセンスを持っている場合、Adobe Flex アプリケーションのみを Silk4NET を使用してテストすることができます。ライセンス モードの詳細については、「ライセンス情報」を参照してください。

テクノロジーの種類	サポートされるバージョン
Adobe Flex	4.0、4.1、4.5.1、4.6
Mozilla Firefox (再生のみ)	17、18*
Google Chrome (再生のみ)	24*
Windows Internet Explorer	8、9、10


テクノロジーの種類	サポートされるバージョン
Java Applets	Java 1.6、Java 1.7


* 高速リリース版を示します。このようなバージョンの製品のライフサイクルは非常に短く、新しいバージョンで次々に置き換えられていきます。Silk Test は、開発元のベンダーがサポートする限り、これらのバージョンをサポートします。つまり、高速リリース版は、次の Silk Test バージョンでは、より新しいバージョンに置き換えられる可能性があります。

Visual Studio 環境

Visual Studio 2010 Professional 以降では Silk4NET を統合できます。

Adobe Flex のサポート

 **注:** Silk4NET の Web + Flex 版ライセンスを持っている場合、Adobe Flex アプリケーションのみを Silk4NET を使用してテストすることができます。ライセンス モードの詳細については、「ライセンス情報」を参照してください。

 **注:** Silk Test は、Google Chrome 上で実行する Web アプリケーションに対して、子ドメイン テクノロジー (Adobe Flex など) のテストをサポートしていません。

Silk Test は Adobe Flash Player 10 以降をサポートしています。

管理者権限

Silk Test をインストールするには、ローカルの管理者権限を持っている必要があります。Silk Test が正しくインストールされたあと、Silk Test を実行するためにも、管理者権限が必要となります。

Silk4NET Web Edition に含まれる項目

Silk4NET をインストールすると、以下の項目を利用できます。

- Silk4NET
- 製品通知サービス - このアプリケーションは、システム トレイに常駐して、設定可能な間隔で更新をチェックします。
- オンライン ヘルプ トピック
各製品の **ヘルプ** メニューからヘルプにアクセスします。
- リリース ノート
新機能、サポート対象のプラットフォームとバージョン、既知の問題、および回避策の詳細については、『*Silk Test* リリース ノート』 (<http://supportline.microfocus.com/productdoc.aspx> で入手可能) を参照してください。
- オンライン チュートリアル <http://supportline.microfocus.com/productdoc.aspx>
PDF ドキュメントを表示するには、Adobe Acrobat Reader™ が必要です。
- オンラインでアクセス可能なサンプル アプリケーション
 - Adobe Flex サンプル アプリケーション
Flex サンプルアプリケーションには <http://demo.borland.com/flex/SilkTest13.6/index.html> からアクセスできます。
 - Insurance Company Web アプリケーション


Web アプリケーションには <http://demo.borland.com/InsuranceWebExtJS/> でアクセスできます。

ライセンス情報

評価版を使用している場合を除き、Silk Test を実行するにはライセンスが必要です。

ライセンス モデルは、使用しているクライアントとテストするアプリケーションをベースとします。利用可能なライセンス モデルは、次のアプリケーションの種類をサポートします。

ライセンス モデル	アプリケーションの種類
Web	Web アプリケーション (Java アプレット を含む)  注: 評価版を使用している場合は、 http://www.borland.com/store/silktestwebedition/silk4NET-webedition へ移動して Web ライセンスを購入してください。
Web + Flex	Web アプリケーション (以下を含む) <ul style="list-style-type: none">• Adobe Flex• Java アプレット  注: Web + Flex ライセンスにアップグレードするには、 www.borland.com へ移動してください。
完全	<ul style="list-style-type: none">• Web アプリケーション (以下を含む)<ul style="list-style-type: none">• Adobe Flex• Java アプレット• Adobe Flex• Java AWT/Swing• Java SWT および Eclipse RCP• .NET (Windows Forms および Windows Presentation Foundation (WPF) を含む)• Rumba• Windows API ベース  注: 完全版にアップグレードするには、 www.borland.com へ移動してください。
プレミアム	完全版でサポートされるすべてのアプリケーションの種類、および SAP アプリケーション。  注: プレミアム版にアップグレードするには、 www.borland.com へ移動してください。

 **注:** 完全版またはプレミアム ライセンスを使用するには、他のセットアップ パッケージが必要です。このドキュメントの情報は、Silk4NET Web Edition に対してのみ適用されます。完全版およびプレミアム版の提供する機能の詳しい概要については、『[リリース ノート](#)』を参照してください。

Silk Test のインストール

このセクションでは、Silk Test をインストールするときに使用できる設定オプションについて説明します。

インストールの前提条件

Silk Test をインストールする前に、以下の情報を確認してください。

- ユーザー アカウントにはローカルの管理者権限があります。

TEMP 環境変数の再設定

Windows の TEMP 環境変数が有効なディレクトリを指していない場合は、エラー メッセージが表示されます。Silk Test を正常にインストールするには、TEMP 環境変数が有効なディレクトリを指している必要があります。

1. **スタート > 設定 > コントロール パネル** を選択します。
2. **システム** をダブルクリックします。
3. **詳細設定** タブを選択し、**環境変数** をクリックします。
4. **ユーザー環境変数** または **システム環境変数** の下の TEMP 変数をダブルクリックします。
5. 有効なディレクトリを入力して、**OK** をクリックします。
6. EXE ファイルをダブルクリックして、Silk Test のインストールを再び開始します。

Silk4NET Web Edition のインストール

Silk4NET Visual Studio プラグインを使用すると、Visual Studio で直接 VB.NET または C# のテスト スクリプトを作成できます。Silk4NET は、標準インストールまたは完全インストールを選択すると、自動的にインストールされます。基本インストールまたはカスタム インストールを選択した場合は、あとで Silk4NET をインストールできます。Silk4NET をインストールすると、Silk Test Recorder および Open Agent もインストールされます。Silk Test Recorder を使用すると、テストを記録できます。テストを手動でコーディングする必要はありません。Silk4NET および Silk Test Recorder を実行するには、Open Agent が必要です。

1. Silk Test の実行可能ファイルを探し、ダブルクリックします。

Silk Test CD を持っている場合は、CD を挿入します。セットアップ プログラムが自動的に開始されない場合は、**スタート > ファイル名を指定して実行...** を選択し、<CD ドライブ>:%setup.exe を入力して、Silk Test セットアップ プログラムを手動で開始します。



注: Windows の TEMP 環境変数が有効なディレクトリを指していない場合は、エラー メッセージが表示されます。Silk Test を正常にインストールするには、TEMP 環境変数が有効なディレクトリを指している必要があります。

InstallAnywhere ウィザードが開きます。

2. 以前にインストールした Silk Test のバージョンがある場合は、**アンインストール** をクリックして **次へ** をクリックし、インストールされている機能をすべて削除します。

以前のバージョンをアンインストールしてから、新しいバージョンをインストールする必要があります。

3. **次へ** をクリックします。使用許諾契約が開きます。
4. 使用許諾契約の条項を注意深くお読みください。これらの条項に同意する場合には、**使用許諾契約の条項に同意する** をクリックします。
5. **次へ** をクリックします。**インストール フォルダの選択** ページが開きます。
6. デフォルトのインストールディレクトリを変更するには、以下のステップを実行します：
 - a) **選択** を選択します。**フォルダの参照** ダイアログ ボックスが開きます。
 - b) Silk Test をインストールするフォルダを指定し、**OK** をクリックして **インストール フォルダの選択** ページに戻ります。場所が **インストールする場所を指定してください** テキスト ボックスに表示されます。
7. **次へ** をクリックします。
8. Windows ファイアウォール例外を作成するかどうかを指定します。



注: このステップは、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、および Windows Server 2008 の場合にのみ使用できます。

- a) 以下のオプション ボタンのいずれかをクリックします。
 - **はい** : セットアップですべての Silk Test 実行可能ファイルに対してファイアウォール例外を作成します。この結果、実行可能ファイルを起動したときにそれをブロックするか許可するかのプロンプトは表示されません。
 - **いいえ** : Silk Test 実行可能ファイルを起動したときにプロンプトが表示されます。
 - b) **次へ** をクリックします。
9. 提示された情報を確認し、以下のステップのいずれかを行います：
 - 設定を変更するには、**前へ** をクリックして、適切なページに戻ります。
 - 必要な設定を終えたら、**インストール** をクリックして、インストール処理を開始します。



ヒント: ファイルのコピー中に十分な空き領域がないというメッセージが表示された場合は、TEMP 領域を多くの領域があるドライブに再定義します。TEMP 領域はインストーラによりファイルを解凍するために使用されます。たとえば、TEMP 領域が d:¥temp であり、e:¥SilkTest にインストールしている場合に、E ドライブにはインストールに十分な領域があるが、D ドライブが制限の要因となります。

ステータス バーにより、インストール処理の状況がわかります。完了すると、**ライセンス モードの選択** ページが開きます。

10. 以下のオプション ボタンのいずれかをクリックします。
 - **評価版** Silk Test の評価版をインストールすると、製品のすべての機能を 30 日間使用できます。あとから、製品版へのアップグレードをご希望の場合には、営業担当までお問い合わせください。
 - **完全版** : ライセンスが必要な Silk Test の無制限版をインストールします。
11. ライセンス ファイルをインストールするには、次のステップを行います：
 - a) **ライセンス サーバーの構成** をクリックして、**次へ** をクリックします。

このライセンス ユーティリティは、ローカル システム内に、SilkMeter ライセンス サーバーの設定ファイルがあるかどうかを確認します。ファイルが見つければ、ライセンス サーバーの設定とタイプが表示され、ライセンス管理に利用されます。設定データが見つからない場合は、**SilkMeter ライセンス サーバーの選択** ページがデフォルトの設定と共に表示されます。
 - b) **アプリケーション** リスト ボックスから、ライセンス管理をするアプリケーションとして **Silk Test** を選択します。
 - c) 以下のオプション ボタンのいずれかをクリックします。

ローカルまたは リモート サーバーを使用する **ライセンス サーバー ホスト** テキスト ボックスに、SilkMeter がインストールされているコンピュータの名前を入力します。ネットワーク管理者が別のポートを定義したのではない限り、デフォルト ポート番号 5461 は変更しないでください。**適用** をクリックして、ライセンス サーバーの設定を生成します。**接続のテスト** をクリックして、指定したホスト、ポート上で SilkMeter サーバーがアクセ

ス可能かどうかを確認します。ライセンス サーバーへの接続テストは、インストール時には失敗することがあります。これは、必須システム ライブラリが、あとからソフトウェア パッケージと共にインストールされるために、その時点ではまだ利用できない場合があるためです。



注: 場合により、**ライセンス サーバー ホスト** テキスト ボックスに、ライセンス サーバーの名前を licenseserver など単純な名前指定すると、うまくいかない場合があります。there is no license server running on the hostname you specified (指定されたホスト名上にはライセンス サーバーが実行されていません) というメッセージ ボックスが開きます。この問題を解決するには、licenseserver.mycompany.com など、完全修飾名によるホスト名を再度指定してください。

スタンドアロン ライセンスを使用する SilkMeter をスタンドアロンで実行します。SilkMeter のライセンス ファイルをインポートするようプロンプトが表示されます。**はい** をクリックし、ライセンス ファイルの場所を指定します。

d) **閉じる** をクリックします。



便利な方法: リモート SilkMeter ライセンス サーバーを使用して Silk Test を実行する場合、ネットワーク接続が機能している必要があります。ネットワークが機能していることを確認する必要がある場合は、**スタート > ファイル名を指定して実行** を選択して ping localhost または ping <license server name> を入力するか、コマンド プロンプトを開いてこれらのコマンドのいずれかを入力します。

インストール完了 ページが開きます。

12完了 をクリックします。

13Silk4NET のインストール実行時に Visual Studio が実行されていた場合は、Visual Studio を再起動します。

インストールが完了すると、Silk4NET のメニュー オプションが表示され、**インストールされたテンプレート** リストから Silk4NET プロジェクトを選択できます。

Silk4NET Visual Studio プラグインの手動インストール

Silk4NET Visual Studio プラグインを使用すると、Visual Studio で直接 Visual Basic または C# のテスト スクリプトを作成できます。Silk Test インストール ウィザードを使用して Silk Test をインストールするときに、Silk4NET Visual Studio プラグインをインストールできます。

この手順は、以下の場合に使用します。

- Silk4NET プラグインのインストール後に Visual Studio のバージョンをアップグレードする場合。

1. < Silk Test インストール ディレクトリ > %ng%Silk4NET にあるファイル MicroFocus.SilkTest.Silk4NET.vsix を実行します。

デフォルトでは、この場所は C:%Program Files%Silk%Silk Test%ng%Silk4NET です。

2. Visual Studio で、Silk4NET のメニュー オプションが表示され、Silk4NET プロジェクトが **インストールされたテンプレート** リストから利用可能であることを確認します。

Silk Test のアンインストール

新しいバージョンの Silk Test をインストールするときに、既存のバージョンの Silk Test のアンインストールを求めるプロンプトがウィザードで表示されます。また、プログラム メニューから Silk Test をいつでもアンインストールできます。

1. **スタート > プログラム > Silk > Silk Test > 管理 > Silk Test のアンインストール** をクリックします。**InstallAnywhere** ウィザードにより、[Silk Test <バージョン> **をアンインストール**] ページが開きます。
2. インストールディレクトリからすべてのファイルを削除するには、**すべてのファイルを削除する** チェックボックスをオンにします。
このチェックボックスをオンにすると、以下の項目またはフォルダが削除されます。
 - Access データベースおよびサンプル
 - [AppDATA]/Silk/Silk Test の内容
たとえば、Windows 7 では、このディレクトリは C:¥Users¥[username]¥AppData¥Roaming ¥Silk¥Silk Test にあります。
 - [commonAppData]/Silk/Silk Test の内容
たとえば、Windows 7 では、このディレクトリは C:¥ProgramData¥Silk Test にあります。
 - [commonAppData]/Silk/Silk Test Workbench の内容
たとえば、Windows 7 では、このディレクトリは C:¥ProgramData¥Silk Test Workbench にあります。
3. **アンインストール** をクリックします。削除されなかったファイルがある場合は、それらのファイルのリストが表示されます。
4. **完了** をクリックします。

索引

G

Green Mountain Outpost (GMO)アプリケーション 5

I

Insurance Company Web アプリケーション 5

S

Silk4NET
手動インストール 10

T

TEMP 環境変数 8

V

Visual Studio プラグイン 8, 10

あ

アンインストール

SilkTest 10

い

インストール
Silk4NET 8, 10
概要 4
プロセスの概要 8

か

概要
インストール 4
インストールされる項目 5
管理者権限 5

さ

サンプル アプリケーション 5

ら

ライセンス
利用可能なライセンスの種類 7